

第4期那須烏山市観光振興ビジョン
進捗管理報告

特定非営利活動法人クロスアクション

目次

1. 第4期那須烏山市観光振興ビジョンの概要	P 1
2. 目標設定（指標）の達成状況	P 3
3. 令和7年度までの取組実績等	P 4
4. 今後の課題	P 7
5. 令和8年度スケジュール	P 8

1. 第4期那須烏山市観光振興ビジョンの概要

【策定の趣旨】

本ビジョンは、本市が有する地域資源や無二の財産の連携や活用により、今後5年間に取り組むべき施策の方向性を明らかにし、交流人口や関係人口を増やした観光入込客数の回復による地域振興を図るために策定されました。

【位置づけ】

- ① 本市における観光振興に関する基本的な指針となる計画に位置付けることとします。
- ② 本市の最上位計画である那須烏山市総合計画の基本目標を達成するための個別計画に位置付けることとします。
- ③ 国・県が策定した観光関連計画を踏まえつつ、市上位計画との整合を図った計画に位置付けることとします。

【計画期間】

本ビジョンの計画期間は、令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間とします。ただし、社会情勢等の大きな変化が生じて計画期間の途中で見直しが必要と判断された場合には、上位計画との整合を図りながら、適宜見直しを行うこととします。

【基本方針】

総合計画の重点戦略「未来につなぐ賑わいを創出する」に位置付けられた「選ばれる観光地域づくり戦略」との連動を図るため、地域資源を活用した着地型観光の推進、観光施設等の充実及び観光を牽引する推進体制の強化を踏まえつつ、今後の方向性は次に掲げる事項に基づき事業展開していくこととします。

- (1) 観光コンテンツづくり
- (2) デジタルとアナログの調和のとれた観光プロモーションによる集客・誘客
- (3) 観光施設の整備充実等による利便性の向上
- (4) 二次交通網の充実による市内周遊
- (5) 人材育成・体制づくり

【基本戦略】

基本方針を踏まえつつ、本ビジョンの3つの基本戦略に基づいて、地域資源を活かした取り組みを推進することとします。

- (1) 歴史・伝統・文化を活かした観光の振興
- (2) 五感で楽しむ観光の振興
- (3) おもてなしの観光の振興

【アクションプラン】

総合計画の重点戦略「未来につなぐ賑わいを創出する」に位置付けられた「選ばれる観光地域づくり戦略」との連動を図るため、地域資源を活用した着地型観光の推進、観光施設等の充実及び観光を牽引する推進体制の強化を踏まえつつ、本ビジョンの計画期間中に戦略的かつ重点的に取り組む事項を基本戦略ごとに掲載しています。

(1) 基本戦略1 歴史・伝統・文化を活かした観光の振興



- ① 烏山城跡の活用と情報発信
- ② メグロの聖地那須烏山事業の積極的な支援
- ③ その他基本方針を踏まえた歴史・伝統・文化を活かした観光の振興を図る取り組み

(2) 基本戦略2 五感で楽しむ観光の振興



- ① サイクルツーリズムの推進
- ② 着地型観光の効果的な情報発信
- ③ その他基本方針を踏まえた五感で楽しむ観光の振興を図る取り組み

(3) 基本戦略3 おもてなしの観光の振興



- ① 多言語対応の観光案内板の設置、公衆無線 LAN (Wi-Fi) 等の整備充実
- ② 施設・景勝地の適正な維持管理
- ③ 観光協会の事業推進、観光ボランティア団体の活動及び観光振興を担う人材育成の支援
- ④ その他基本方針を踏まえたおもてなしの観光の振興を図る取り組み

2. 目標設定（指標）の達成状況

本ビジョンでは、令和4（2022）年を基準として、本ビジョンの最終年度にあたる令和9（2027）年度の達成数値目標を設定しました。

本ビジョンを策定した令和5（2023）年は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が解除され、観光需要の急速な回復（リベンジ消費）やインバウンド客の増加など、観光を取り巻く環境が劇的に変化する過渡期にありました。本市においても、国や県の観光支援策に呼応し、主要観光スポットへの客足が戻りつつある一方で、原材料高騰や人手不足といった課題が顕在化し、消費単価の向上と持続可能な受入体制の構築が急務となっていました。

令和7（2025）年度の実績については、観光客入込数が568,630人と目標値を大きく上回り（達成率126%）、主要観光施設の入館者数も171,049人と好調に推移しました。これは、「デジ田交付金」を活用した「AR難攻不落鳥山城」の作成や、山あげ会館の月間売上300万円達成、さらに「メグロの聖地」としての認知拡大など、既存資源の高付加価値化とデジタル技術の融合が着実に成果を結んだものと評価できます。

一方で、宿泊観光客数は43,513人と目標値に対してわずかに届かない状況（達成率96%）にあります。この結果を踏まえ、令和8年度以降は「日帰りから宿泊へ」の転換をさらに加速させる必要があります。具体的には、サイクリング動画による市内周遊の促進や、夜間景観の活用など、滞在時間を延ばす施策を強化します。現時点では当初の令和9年度目標値を据え置き、未達成項目については令和8年度以降の重点課題として位置づけ、ビジョンに掲げる「滞在型観光への転換」の実現を目指します。

目標	令和4（2022）年 実績値（人）	令和7（2025）年 実績値（人）	令和9（2027）年 目標値（人）	目標達成率
観光客入込数	252,131	568,630	450,000	126%
宿泊観光客数	29,530	43,513	45,000	96%
主要観光施設の 入館者数	71,977	171,049	134,750	127%

3. 令和7年度までの取組実績等

ここでは、本ビジョンに掲げるアクションプランをもとに、令和5年度から令和7年度までの取組実績を記載します。

(1) 基本戦略1 歴史・伝統・文化を活かした観光の振興

<p>①烏山城跡の活用と情報発信</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジ田交付金を活用した城下町魅力発信事業の実施として、「AR難攻不落烏山城」を作成 (R6) ・市生涯学習課による城の日見学会 ・駅からハイキングでの周遊コース設定 <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市生涯学習課「AR難攻不落烏山城」を活用した城跡活用事業 ・市生涯学習課による城の日見学会 (継続) ・市生涯学習課による烏山城跡現地説明会の実施 <u>(新規)</u> ・駅からハイキングでの周遊コース設定 (継続) ・「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会 (栃木県観光交流課) による城下町散策マップ作成業務 <u>(新規)</u>
<p>②メグロの聖地那須烏山事業の積極的な支援</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メグロ・キャノンボール那須烏山への人材支援 ・本田技研工業㈱からメグロバイクの寄贈 <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メグロ・キャノンボール那須烏山への人材支援 ・JMS (ジャパンモビリティショー) 2025への出展 <u>(新規)</u>
<p>③その他基本方針を踏まえた歴史・伝統・文化を活かした観光の振興を図る取り組み</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年11月 山あげ会館月間売上200万円超達成 ・市生涯学習課による文化財巡りの実施 ・市民団体による観光事業 <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月 山あげ会館月間売上300万円超達成 ・市生涯学習課による文化財巡りの実施 (継続) ・市民団体による観光事業

(2) 基本戦略2 五感で楽しむ観光の振興

<p>①サイクルツーリズムの推進</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市まちづくり課との情報共有を行い、市内サイクリングコース走行動画作成 ・観光パンフレットへのサイクリングコース掲載(継続) ・商業施設へのサイクルスタンド購入補助金(R5)の予算化(継続) <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お食事処マップ内 サイクルスタンド設置店舗はサイクルスタンド「有」のマーク追加 <u>(新規)</u> ・観光パンフレットへのサイクリングコース掲載(継続) ・サイクルスタンド購入補助金の予算化(継続) ※実績なし。 ・広域連携によるサイクルツーリズム事業(案)の作成並びに那珂川町、さくら市及び高根沢町への事業説明 <u>(新規)</u>
<p>②着地型観光の効果的な情報発信</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレットの作成(継続) ・SNSの活用(継続) ・観光PRターポリン看板作成(R5)、県道10号線への掲出(継続) <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光パンフレットの作成(継続) ・SNSの活用(継続) ・観光PRターポリン看板 県道10号線への掲出(継続)
<p>③その他基本方針を踏まえた五感で楽しむ観光の振興を図る取り組み</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なすからブランドを活用した観光プロモーション ・市農政課による八溝そば手打ち体験 <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なすからブランドを活用した観光プロモーション(継続) ・市農政課による八溝そば手打ち体験(継続) ・市まちづくり課による「魅力みつけ!からせんサイクルめぐり」の実施 <u>(新規)</u> ・市LINE公式アカウントを活用した桜の開花状況発信 <u>(新規)</u>

(3) 基本戦略3 おもてなしの観光の振興

<p>①多言語対応の観光案内板の設置、公衆無線LAN (Wi-Fi) 等の整備充実</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR烏山駅前、JR大金駅前、龍門ふるさと民芸館前の観光案内板の更新実施 ・山あげ会館、龍門ふるさと民芸館、大金駅前観光交流施設における公衆無線LANの整備 <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR烏山駅前、JR大金駅前、龍門ふるさと民芸館前の観光案内板設置（整備済） ・山あげ会館、龍門ふるさと民芸館、大金駅前観光交流施設における公衆無線LANの整備（整備済）
<p>②施設・景勝地の適正な維持管理</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花立峠憩いの森公園擬木階段、手摺の修繕（継続） ・各公園等の芝管理・除草等の実施（継続） ・龍門の滝転落防止柵修繕（R5整備済） ・市生涯学習課 文化財活かし隊による環境整備事業（継続） <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花立峠憩いの森公園擬木階段の修繕（継続） ・各公園等の芝管理・除草等の実施（継続） ・龍門の滝内 太鼓橋解体工事（新規） ・市生涯学習課 文化財活かし隊による環境整備事業（継続）
<p>③観光協会の事業推進、観光ボランティア団体の活動及び観光振興を担う人材育成の支援</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）那須烏山市観光協会へのフィルムコミッション業務委託（R6新規） 撮影支援実績：映画 1件 PR出展等：14件 ・ボランティア団体へのヒアリング実施 <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）那須烏山市観光協会へのフィルムコミッション業務委託（継続） 撮影支援実績：映画 1件 情報バラエティ 5件 PR出展等：11件 ・観光振興を担う人材育成の支援策は未実施

<p>④その他基本方針を踏まえたおもてなしの観光の振興を図る取り組み</p>	<p>令和5～6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内及び近隣市町温泉宿泊施設と連携した山あげ祭送迎付宿泊プランの実施 <u>(R6新規)</u> <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内及び近隣市町温泉宿泊施設と連携した山あげ祭送迎付宿泊プランの実施 (継続)
--	--

4. 今後の課題

実績値から、観光客入込数や主要施設への来館者は大幅に増加しているものの、宿泊観光客数が目標値に達していないことが明らかになりました。令和9（2027）年目標値達成に向け、地域資源のさらなる磨き上げや交流人口・関係人口の増加を図った持続可能な施策を展開するために、以下の3点を重点課題とします。

(1) 「日帰りから宿泊・滞在」への転換と消費単価の向上

令和7（2025）年の観光客入込数・宿泊数推定調査結果によると、観光客入込数は目標値を達成しましたが、宿泊観光客数は約1,500人の未達（達成率96%）となりました。龍門の滝や山あげ会館といった「点」での観光から、市内飲食店や宿泊施設を巡る回遊性の向上を図り、「稼ぐ観光」としての実効性を高める観光コンテンツづくりを推進します。

(2) デジタルコンテンツの活用と周遊性の強化

「AR 難攻不落烏山城」等のデジタル化が進んだ一方、これらを実際の周遊（街歩きやサイクリング）へどう繋げるかが課題となります。サイクルツーリズムの推進や、二次交通網の充実により、市内全域への経済波及効果を狙います。

(3) 情報発信の強化と受入環境の整備

SNS等の普及によって多様化する情報発信手法に対応し、媒体の特性やターゲットに合わせた効果的な情報発信を展開するとともに、特に若年層及びインバウンドに向けた訴求力の向上を図ります。

また、来訪者の増加を見据え、観光案内板や公衆無線LANの整備並びにキャッシュレス決済の導入といったハード面、インバウンドガイド等の観光振興を担う人材の育成といったソフト面の両面から、観光客受入環境の向上に取り組む必要性があります。

5. 令和8年度スケジュール（案）

■基本方針

- 観光ビジョン進捗会議：年2回
- 観光関係者意見交換：随時（必要に応じて）
- 来訪者アンケート：通年実施・年2回集計
- 夏・祭り等の繁忙期を避けた現実的な日程設定

令和8年度 年間スケジュール（案）

4 月	第1回進捗会議（年度方針）
↓	
6～7月	夏季意見交換（任意）
↓	
9 月	アンケート上半期集計
↓	
11 月	秋季状況共有（任意）
↓	
1 月	アンケート下半期集計
↓	
2 月	第2回進捗会議（総括）

① 第1回 観光振興進捗会議（キックオフ）

- 時期：令和8年4月中旬
- 目的：
 - 年度方針共有
 - 夏季観光施策検討
 - 山あげ祭等イベント状況確認
 - 観光協会との役割整理
- 参加想定：
 - 行政
 - 観光協会理事
 - 関係団体

② 夏季観光 意見交換会（必要に応じて）

- 時期：令和8年6月～7月前半
- 目的：
 - 夏休み集客対策
 - 商品造成検討
 - 来訪者動向共有
- 備考：
※開催可否は状況判断（必須ではない）

③ 来訪者アンケート実施（通年）

- 実施方法：
 - QRコード設置
 - 観光施設・店舗等協力
- 集計①：9月頃（上半期）
- 集計②：1月頃（下半期）

④ 秋～冬 観光動向共有（簡易）

- 時期：令和8年11月頃（必要に応じて）
- 内容：
 - 繁忙期振り返り
 - 次年度検討材料整理
※祭り・行事状況により開催見送り可

⑤ 第2回 観光振興進捗会議（総括）

- 時期：令和9年2月
- 目的：
 - 年間振り返り
 - アンケート結果報告
 - 次年度方針検討
 - 観光ビジョン進捗確認